

研究 成 果 報 告 書

(ふりがな) ながいみつとし

氏 名 長井 満敏

現 職 (所属名、職名等) 府中市教育委員会 指導主事

卒業又は修了年月、専修又は専攻コース名

教科・領域教育専攻・自然系コース (理科) 平成11年3月31日修了

研究のテーマ 江戸時代庶民の自然観に関する研究

～小学校児童の自然観との比較の視点から～

近年、江戸時代の人々の暮らしが再評価されている。封建体制下で、人々は締め付けられた苦しい生活を強いられていたのではなく、「男も女も子どもも、みんな幸せで満足そう」(オズボーン)であった。そして、その暮らしぶりは日本の豊かな自然に呼応する、すぐれて「資源循環型」の社会でもあった。

江戸時代の人々の暮らしは、幕末や明治初期に日本に來日した外国人の記録の中で、その姿が生き生きと描かれている。それらの記録から、当時の日本人の自然との関わりの主な特色として、次の3点を挙げることができる。

(1) 一日の生活や季節の移り変わり等、天体の運行とともに暮らしているという意識があった。

(2) 森、草花、鳥など自然を愛でる心情にあふれていた。

(3) 人間の存在を自然の一部ととらえ、物を大事にして生活していた。

このいずれも、日本の近代化とともにほとんどが失われてしまった。渡辺京二は、これを「ひとつのユニークな文明の滅亡」と呼んでいる。

一方、現代の児童・生徒が学んでいる「理科」は、西洋が生んだ「科学」と日本人が有していた自然観の双方に立脚していると言えるが、内容の構成は「科学」に重点が置かれている。近代科学に対して様々な警鐘が鳴らされる中であって、江戸時代の人々の自然観を理科教育に生かすことは価値あることではないか。その第一歩として、本研究では現在の児童の自然観を明らかにすることとした。上記の(1)と(2)について、小学校5・6年生(227名)を対象として、アンケート調査を実施した。質問の内容は、次の3点である。

(1) ①天体の運行等についての関心

(2) ②春・夏・秋に花を咲かせる植物の理解

③春・夏・秋・冬に食卓に並ぶ旬の食材についての理解

(1)については、天体の運行等に対してあまり関心をもっていない傾向にあることがわかった。「1日のうちで太陽の位置を意識することがありますか」との問いに対し、第6学年で関心の低い回答が多くなっている。また、「今日の月の形がわかりますか」という問いに対して、「わかる」と答えた児童は、全体の28%であった。(2)については、季節ごとに花を咲かせる植物の名称や、旬の食材についての関心も決して高いとは言えない。「春・夏・秋のそれぞれの季節に花を咲かせる樹木や草花」を3つ書かせる設問では、秋に咲く花について、41%の児童の回答数が「0」であり、誤答も目立った。

これらの結果から、天体の運行や植物の名称に対する関心を高めるとともに、旬の食材など季節感についても理科教育においてより重点的に取扱う必要があることを感じる。日本人の心に刻まれ、伝統的に受け継がれてきた自然観を取り戻すことで、これからの日本の理科教育をさらに充実させることができると考える。

自然の見方についてのアンケート

このアンケートは、小学校5・6年生の皆さんが、自然についてどのような見方をしているかを調べるものです。

それぞれの質問について、あてはまることをそれぞれの場所に記入してください。

学年（ 5年 6年 ） 性別（ 男 女 ）

※それぞれ、あてはまる方に○をつけてください。

- 1 あなたは、1日のうちで太陽の位置を意識することがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。



- 2 あなたは、1日のうちで月の位置や形を意識することがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。



- 3 あなたは、今日の月の形がわかりますか。あてはまる方に、○をつけてください。わかると答えた人は、□に今日の月のだいたいの形を書いてください。

（ わかる わからない ）

- 4 春・夏・秋のそれぞれの季節に花を咲かせる樹木や草花のうちで、あなたが知っているものの名前を3つまで書いてください。3つ書けない場合は、書けるだけ書いてください。

	1	2	3
春			
夏			
秋			

- 5 春・夏・秋・冬のそれぞれの季節に食卓に並ぶ食材（野菜や魚介類など）のうちで、あなたが知っているものの名前を3つまで書いてください。3つ書けない場合は書けるだけ書いてください。

	1	2	3
春			
夏			
秋			
冬			

以上です。ご協力ありがとうございました。

＜アンケート実施結果＞

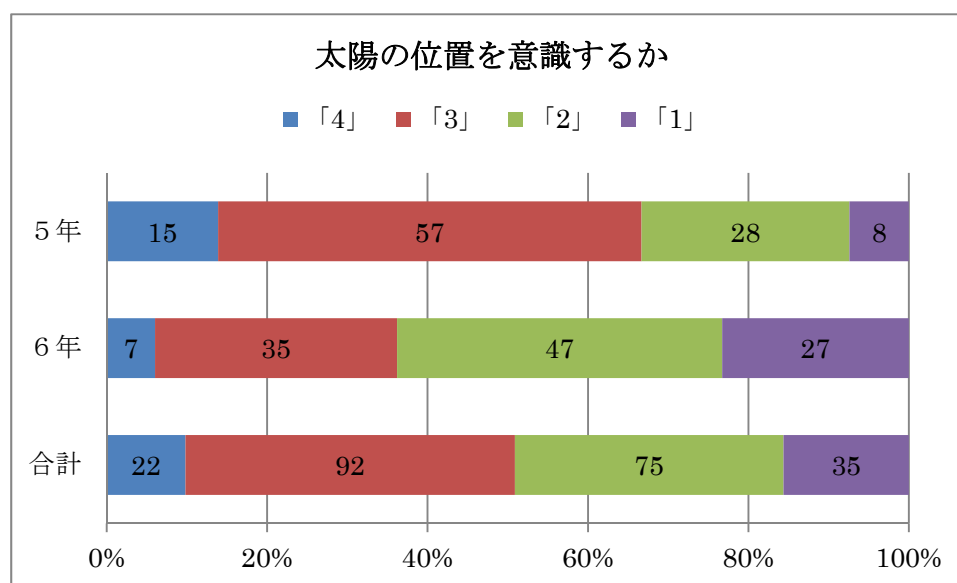
対象校：東京都内小学校 1校

対象：小学校第5学年（110名）・第6学年（117名）

実施時期：平成23年2月

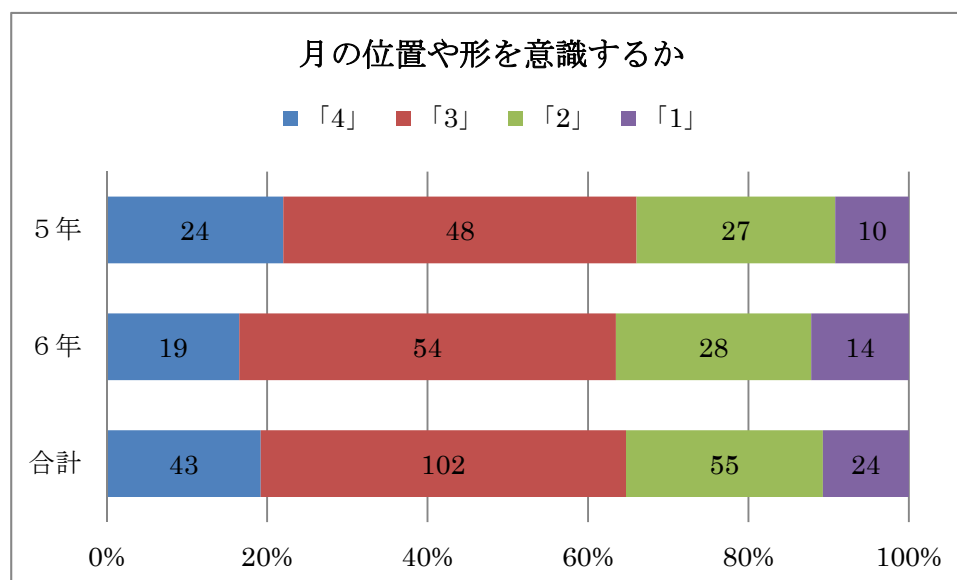
- 1 あなたは、1日のうちで太陽の位置を意識することがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

4	3	2	1
よくある	ときどきある	ほとんどない	ない



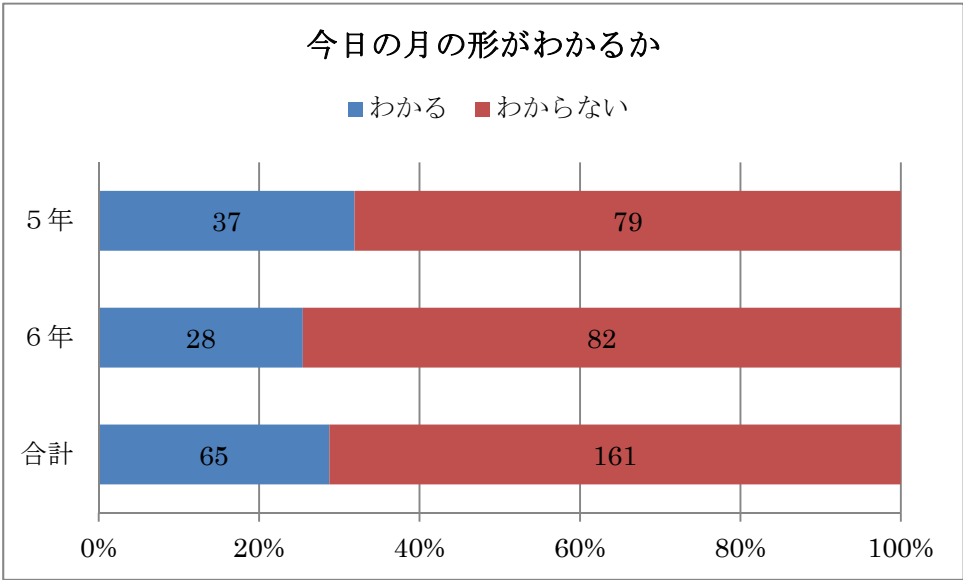
- 2 あなたは、1日のうちで月の位置や形を意識することがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。

4	3	2	1
よくある	ときどきある	ほとんどない	ない



3 あなたは、今日の月の形がわかりますか。あてはまる方に、○をつけてください。
 わかると答えた人は、□に今日の月のだいたいの形を書いてください。

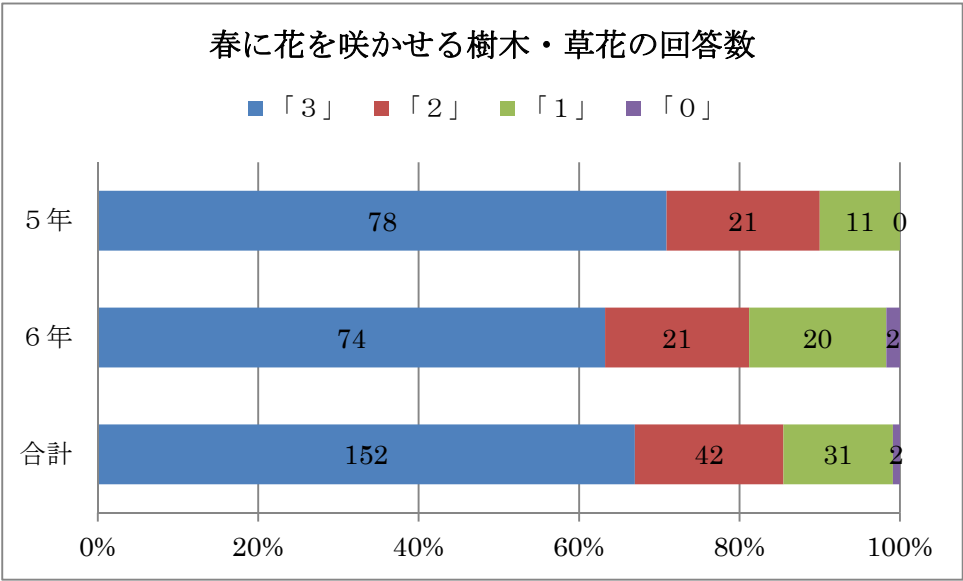
わかる わからない



「わかる」と答えた児童の正答数

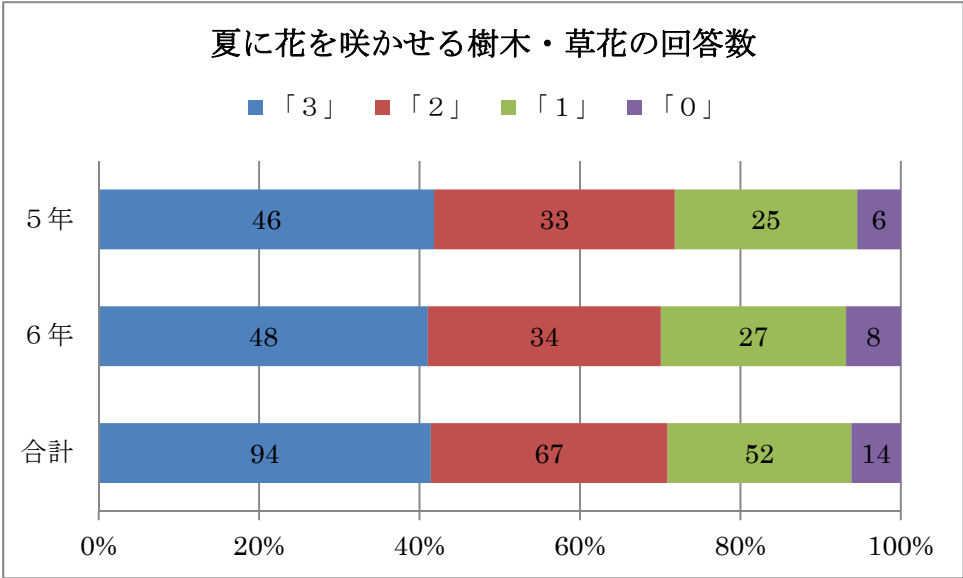
	「わかる」	正解
5年	37	34
6年	28	26
合計	65	60

4 春・夏・秋のそれぞれの季節に花を咲かせる樹木や草花のうちで、あなたが知っているものの名前を3つまで書いてください。3つ書けない場合は、書けるだけ書いてください。



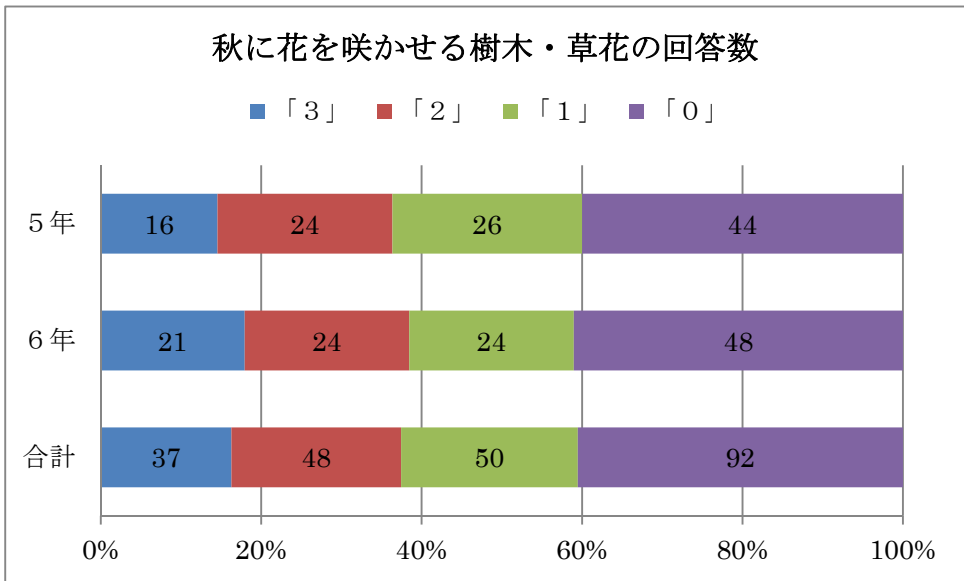
春に花を咲かせる樹木や草花の主な回答

	サクラ	タンポポ	ウメ	チューリップ	ナノハナ
5年	106	39	56	35	3
6年	108	50	42	35	10
合計	214	89	98	70	13



夏に花を咲かせる樹木や草花の主な回答

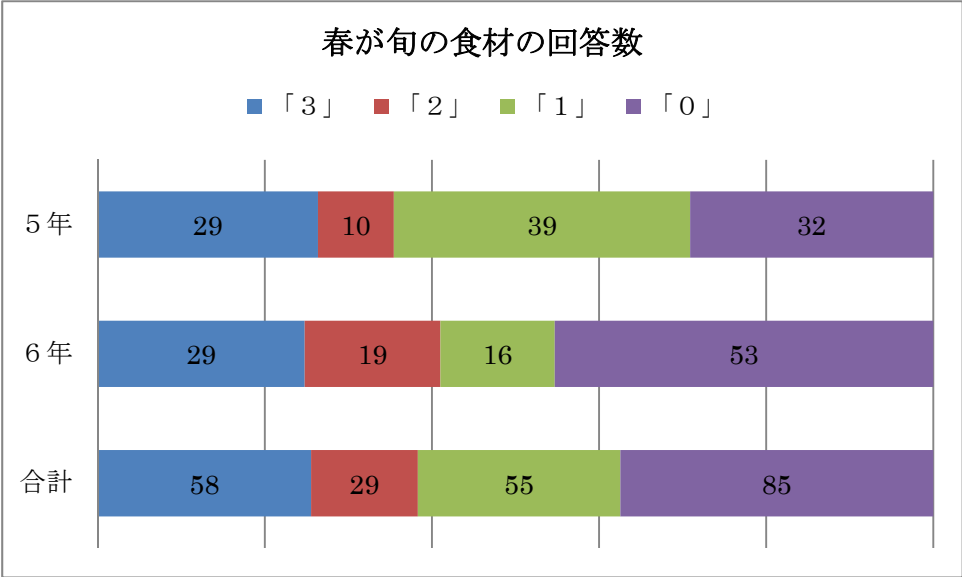
	ヒマワリ	アサガオ	ヘチマ	アジサイ	ケヤキ
5年	92	52	18	12	7
6年	99	44	27	17	13
合計	191	96	45	29	20



秋に花を咲かせる樹木や草花の主な回答

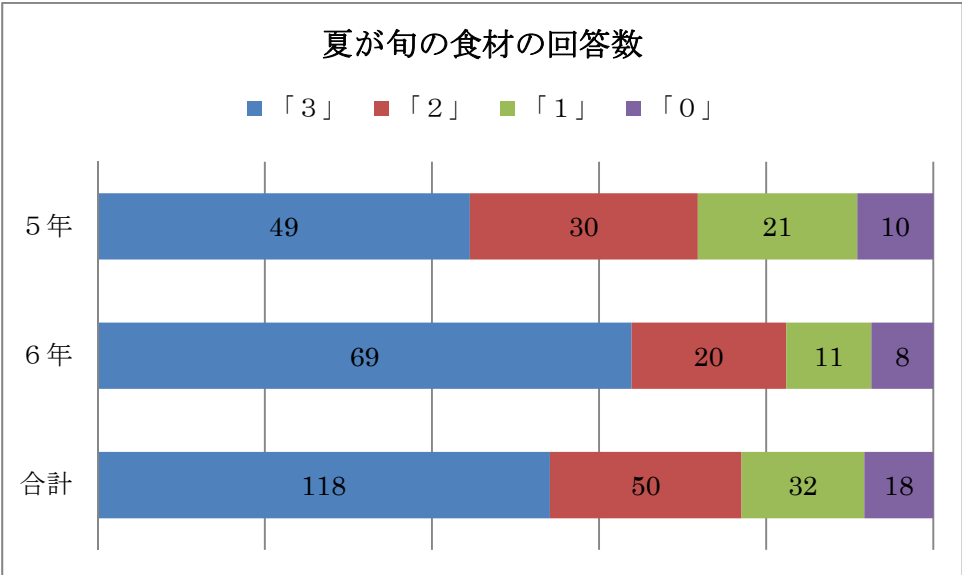
	モミジ	イチョウ	コスモス	ススキ	カエデ
5年	42	29	5	4	6
6年	45	29	17	10	9
合計	87	58	22	14	15

5 春・夏・秋・冬のそれぞれの季節に食卓に並ぶ食材（野菜や魚介類など）のうちで、あなたが知っているものの名前を3つまで書いてください。3つ書けない場合は書けるだけ書いてください。



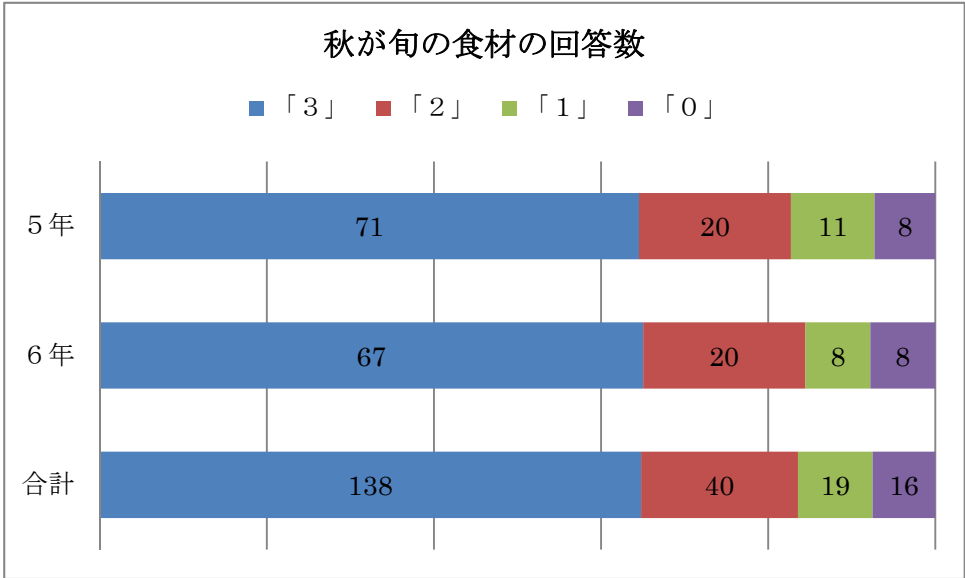
春が旬の食材の主な回答

	いちご	さくらんぼ	もも	菜の花	うめ	マグロ	ふきのとう
5年	33	29	14	8	6	4	0
6年	15	10	2	27	1	0	30
合計	48	39	16	35	7	4	30



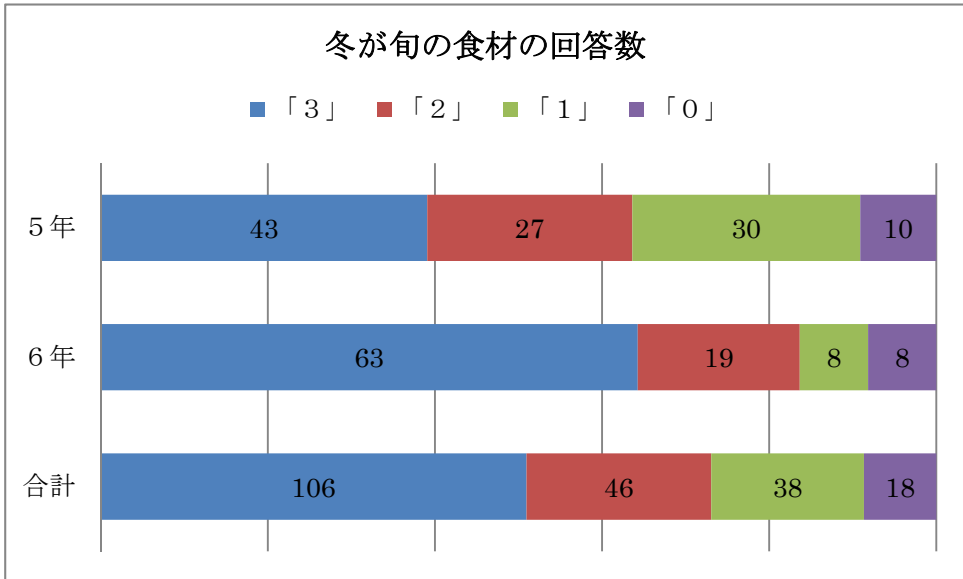
夏が旬の食材の主な回答

	スイカ	トマト	メロン	ゴーヤ	ナス	キュウリ
5年	90	23	22	17	10	9
6年	55	44	7	26	31	31
合計	145	67	29	43	41	40



秋が旬の食材の主な回答

	サンマ	くり	きのこ	かき	さつまいも	まつたけ	竹の子
5年	81	45	22	21	12	12	2
6年	68	42	5	7	16	7	10
合計	149	87	27	28	28	19	12



冬が旬の食材の主な回答

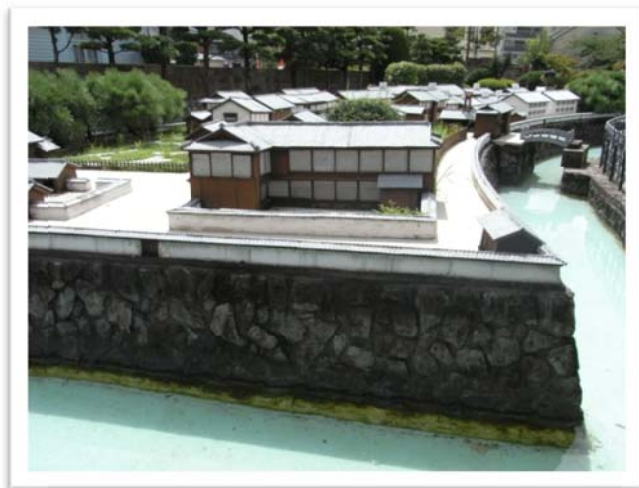
	みかん	いちご	ブリ	かぼちゃ	カニ	白菜	大根	サケ
5年	57	29	20	15	11	9	8	0
6年	16	22	10	14	5	16	28	13
合計	73	51	30	29	16	25	36	13

<長崎市を訪ねて>

幕末に日本を訪れた欧米人の多くは、長崎に寄港した。その際に、彼らが目にした長崎の美しさに関する記録が多く残されている。渡辺 京二は、『逝きし世の面影』の中で次のようなエピソードを紹介している。ヴェルナーは、『長崎の港口はこれら三港（リオ・デ・ジャネイロ、リスボン、コンスタンチノーブル）のすべてにまさっている』と語り、リンダウは、「私はヨーロッパ人で長崎の町のすばらしい位置とその全景の魅力的な美しさに心を打たれることなく長崎に上陸した者を知らない」と言った。

私は、これまで長崎県を訪れたことがなく、長崎の港を一目見てみたいと思っていた。今回、研究の機会をいただき、平成22年8月に長崎を訪ねた。

グラバー園から長崎港を望んだり、佐世保市近郊の九十九島を巡ったりして、その自然の美しさを目の当たりにすることができた。遙か250年以上前とは、その景観は異なるにせよ、日本の地を訪れた欧米人と幾分か同じ感慨を味わうことができたとともに、日本の自然の素晴らしさを再認識した。



＜参考文献＞

- (1) 竹内 誠：「体系 日本の歴史10 江戸と大坂」，小学館，1989
- (2) 奈良本達也：「日本の歴史17 町人の実力」，中公文庫，1974
- (3) 竹内 誠編：「日本の近世14 文化の大衆化」，中央公論社，1993
- (4) ひろたまさき編：「日本の近世16 民衆のこころ」，中央公論社，1994
- (5) 西山松之助：「甦る江戸文化 一人びとの暮らしの中で」，NHK出版，1992
- (6) 西山松之助：「江戸っ子」，吉川弘文館，2006
- (7) 竹内 誠編：「江戸文化の見方」，角川選書，2011
- (8) 渡辺 京二：「逝きし世の面影」，平凡社，2005
- (9) 池田 雅之：「ラフカディオ・ハーンの日本」，角川選書，2010
- (10) ラフカディオ・ハーン、池田 雅之訳：「新編 日本の面影」，角川文庫，2000
- (11) 今野 信雄：「江戸」を楽しむ」，朝日文庫，1994
- (12) 板倉 聖宣：「増補 日本理科教育史」，仮説社，2009
- (13) 日置 光久、露木 和男、一寸木肇、村山 哲哉：「復刊 自然の観察」，農山漁村文化協会，
2009
- (14) 中村雄二郎：「パトスの知」，筑摩書房，1982
- (15) 今西 錦司：「自然学の提唱」，講談社，1984
- (16) 鈴木 孝夫：「ことばと文化」，岩波新書，1973
- (17) 文部科学省：「小学校学習指導要領解説 理科編」，大日本図書，2009
- (18) 文部省：「小学校学習指導要領解説 理科編」，東洋館出版社，2000